

関係各位

2011年6月19日

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN

理事 土谷和之

電力会社の主要株主および PRI 署名機関に向けた公開質問状へのご回答のお願い

拝啓

時下、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

A SEED JAPAN (Action for Solidarity, Equality, Environment and Development/青年による環境と開発と協力と平等のための国際行動) は、1992年の「地球サミット(国連環境開発会議)」へ青年の声を届けるために設立された国際青年環境 NGO です。環境問題・社会問題の背後にある構造的な課題を解決するために、市民を中心としたお金の流れ「買う・働く・貯金(投資)する」を環境保全、社会的公正に資するものへ変革することを目指した活動等を行っております。

こうした活動の一環として、2003年より、「利便性」や「健全性」だけでなく「環境・社会配慮への取り組み」も1つの基準として、預金・投資先の金融機関や金融商品を選択する、という考え方(それを私たちは「エコ貯金」と呼んでいます)を普及すべく、これまで一般市民・金融機関向けの各種フォーラム・セミナーの開催、アースデイ東京、エコプロダクツ等の環境イベントでの啓発活動等を実施してきました。また、大手フィナンシャル・グループ3行(三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、みずほフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャル・グループ)に対し、金融機関の CSR に関する公開質問状をご送付し、回答結果を公開・講評する活動等も展開してまいりました。こうした活動は日本経済新聞、朝日新聞などの国内主要新聞や、週刊金融財政事情、金融ジャーナル等の金融専門誌に取り上げられる等、大きな反響を呼んでおります。

さて、2011年3月11日に発生した東日本大震災に起因する福島原発の事故により、原子力発電のリスクに対する市民の関心は非常に高まってきております。また、原発を保有する電力会社の株主総会においても、脱原発に向けた議案が複数提案されており、電力会社の主要株主や機関投資家がこれらの議案に対してどのような考え方をもって対応されるか、注目が集まっています。

A SEED JAPAN では、こうした一般市民の関心の高まりを受け、このたび、電力会社の主要株主および PRI (責任投資原則) の署名機関に対して、今回の福島原発の事故を踏まえた投資方針の見直しや、今年度の株主総会における議決権行使に関する公開質問状をご送付することとしました。本公開質問状を、今回の原発事故を受けた貴団体の取り組みやお考えを広く市民に発表する機会として、積極的にご活用していただければと考えております。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、2011年7月15日(金)までに、e-mail で A SEED JAPAN (e-mail アドレス: info@aseed.org) まで返答いただけますと幸いです。なお、この質問状のファイルは以下のサイトからダウンロードできますので、ご活用ください。

URL: <http://www.aseed.org/ecocho/questionnaire/questionnaire110619.html>

なお、頂いた回答は A SEED JAPAN のウェブサイトにて、そのまま公開いたします(ご回答がなかった場合も未回答ということで公開させていただきます)。ご回答の程、どうぞ、よろしくお願い致します。

敬具

本件に関する返答先およびご連絡先:

A SEED JAPAN エコ貯金プロジェクト (担当: 岸田・土谷)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-23 Tel: 03-5366-7484 Fax: 03-3341-6030

e-mail: info@aseed.org Web: <http://www.aseed.org/>

※1: 同封物は以下の1点です。

・電力会社の主要株主および PRI 署名機関に向けた公開質問状及び回答票

※2: 電力会社の主要株主については、2011年3月時点の会社四季報における電力会社11社(北海道電力、東北電力、北陸電力、東京電力、中部電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、沖縄電力、電源開発株式会社)の主要株主(上位10位)から抽出させていただいております。